

1 目標指標の状況

活性化の目標	目標指標	基準値 (H28)	目標値 (H33)	最新値		状況
				数値	時点	
目標1 行きたくなるまち	善光寺仁王門前の歩行者・ 自転車通行量 (人/日)	27,150	30,000	24,355	H29.10	C
目標2 住みたくなるまち	総人口に対する中心市街地の 人口比率 (%)	2.47	2.65	2.50	H29.10	B
目標3 巡りたくなるまち	①中心市街地（6地点）の 歩行者・自転車通行量 (人/日)	112,504	108,000	128,776	H29.9	A
	②中央通り及び権堂アーケード 沿い1階部分の空き店舗数 (件)	21	21	17	H29.11	A
目標4 交わりたくなるまち	もんぜんぶら座及び生涯学習 センター並びに権堂イースト プラザ市民交流センターの利 用者数 (人/年)	560,735	583,000	560,137	H29.3	C

※ 状況

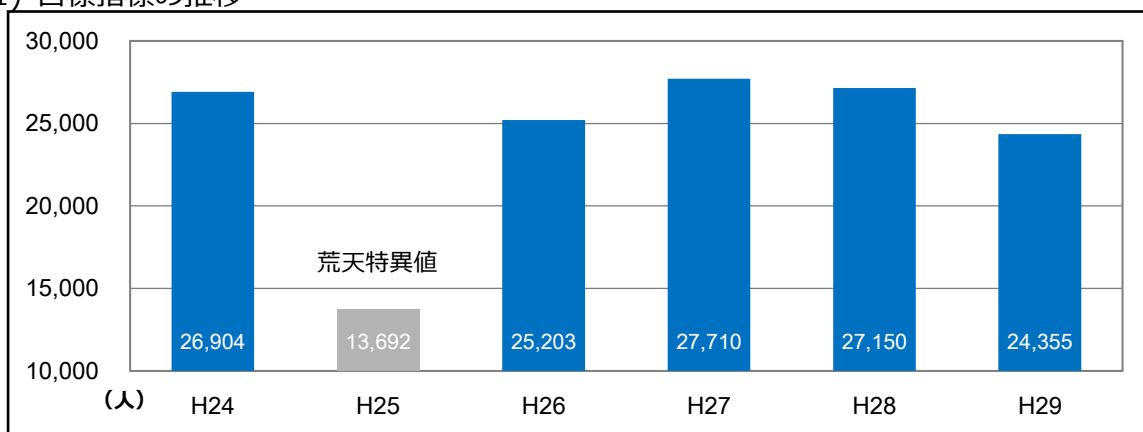
A：基準値以上、目標値以上

B：基準値以上、目標値未満

C：基準値未満

2 目標1「行きたくなるまち」について

(1) 目標指標の推移



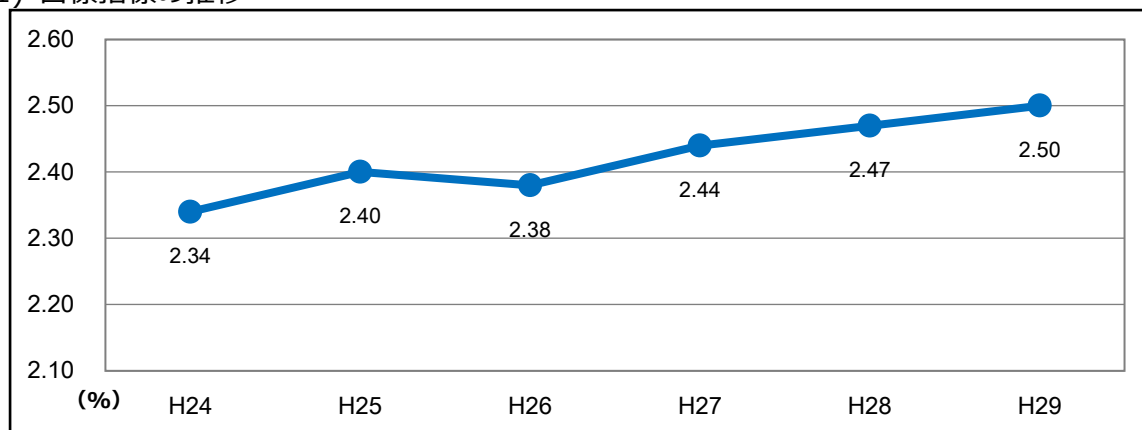
(2) 目標達成に寄与する主な事業の状況

城山公園再整備事業では、緑を豊かにする委員会に再整備検討委員会を設置し、信濃美術館の整備に合わせた噴水広場の基本設計を先行決定した。また、善光寺周辺地区街なみ環境整備事業では、表参道周辺街路の約250mについて、道路美装化と電線地中化を実施した。

今後は城山公園再整備事業に合わせ、善光寺仲見世から城山公園へ向かう御幸坂通りや、城山小学校北側市道の歩道部を整備していくほか、城山公園全体の再整備基本構想を策定する中で、善光寺参拝客の取り込みや交通対策も含めた回遊性の向上を図る。

3 目標2「住みたくなるまち」について

(1) 目標指標の推移



【実数】

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
長野市 総人口	386,882人	385,897人	384,641人	383,639人	382,249人	380,593人
中心市街地 人口	9,057人	9,245人	9,157人	9,351人	9,426人	9,516人

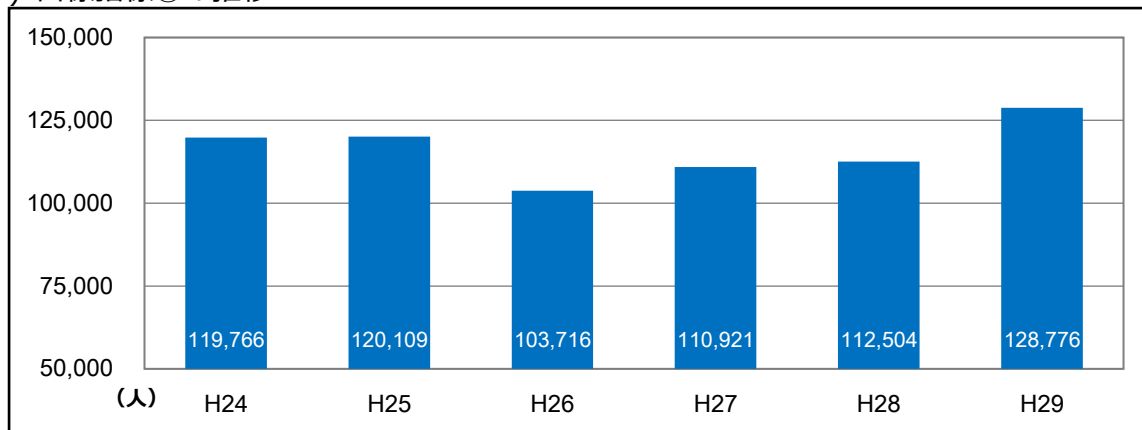
(2) 目標達成に寄与する主な事業の状況

後町小学校跡地活用整備事業では、学校跡地に整備された県立大学寮に247人が入寮し、若者人口の増加に寄与した。また、中心市街地遊休不動産活用事業では、24回のまち歩きに166人が参加、3回連続講座の空き家の未来学ゼミに228人が参加するなど、中心市街地への移住・出店の促進とまちづくりのプレイヤー育成に寄与した。

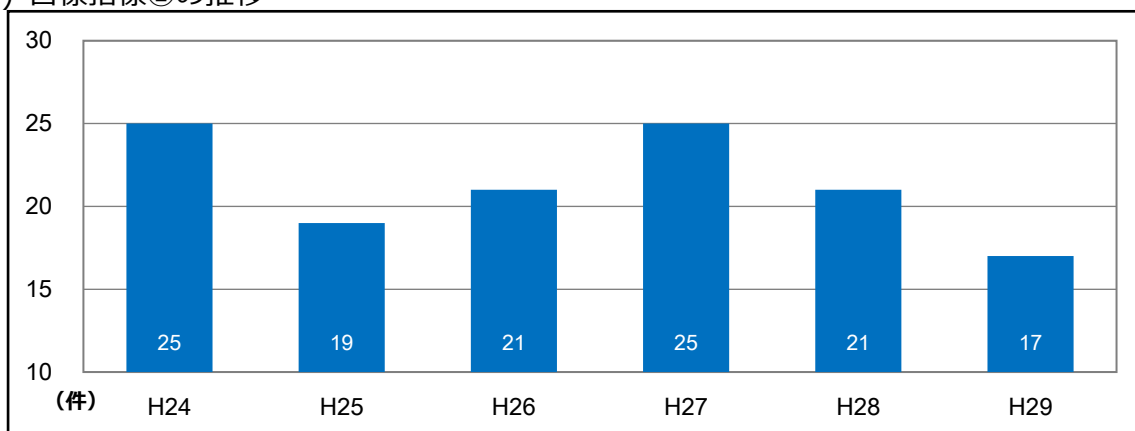
今後は中心市街地遊休不動産活用事業の拠点を善光寺門前からエリア全体へ拡大するとともに、引き続き長野駅周辺第二土地区画整理事業や南石堂A-1地区優良建築物等整備事業などで土地の高度利用と共同化を図り、居住環境と防災力に優れるまちを形成することにより、まちなか居住の推進を図る。

4 目標3「巡りたくなるまち」について

(1) 目標指標①の推移



(2) 目標指標②の推移



【地点別内訳】

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中央通り	17件	12件	14件	17件	19件	16件
権堂アーケード	8件	7件	7件	8件	2件	1件

(3) 目標達成に寄与する主な事業の状況

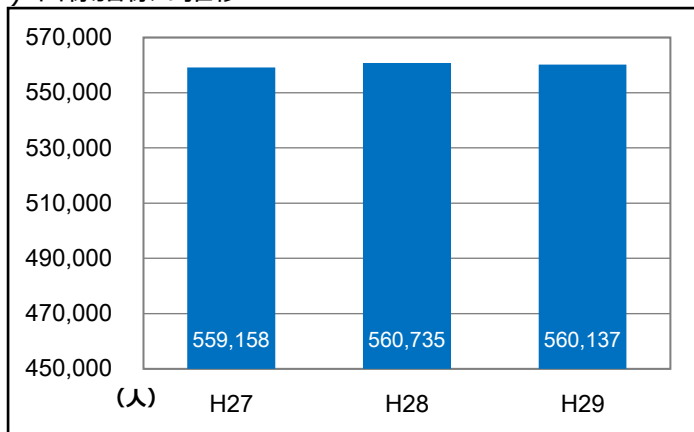
中央通り歩行者優先道路化事業（Ⅱ期）では、新田町交差点以南の中央通りが市道に編入された。また、県庁緑町線沿線地区整備事業では、街路部分の用地買収と移転協議を進め、区画整理部分でも全区画の仮換地指定に至った。更に、まちなか広場整備事業では、セントラル・スクウェアの地権者と長期賃貸借契約について合意に至り、市民ワークショップによる活用策の検討を開始した。

今後は、バス路線が集中し交通量も多い中央通り新田町交差点以南の整備方針を検討するとともに、県庁緑町線とまちなか広場の整備を着実に進め、歩行者の回遊性向上を図る。

同時に、集客イベント等開催事業や空き店舗等活用事業などを継続し、観光や商業振興の面からも賑わいの創出を図る。

5 目標4「交わりたくなるまち」について

(1) 目標指標の推移



(2) 目標達成に寄与する主な事業の状況

もんぜんぷら座及び生涯学習センターの運営事業では、利用環境の整備や講座を充実させながら、引き続き市民交流や生涯学習の場を提供している。また、耐震化が必要なもんぜんぷら座については、評価専門委員会に「もんぜんぷら座在り方検討部会」を設置し、答申の基本となる部会報告を実施した。権堂イーストプラザ運営事業では、指定管理者の変更に伴い、キッズスペースの拡大や自主事業を充実させたことで、施設がまちなかのコミュニティづくりの一助となっている。

また、街角に芸術と音楽があるまちづくり事業では、区域をこれまでの長野駅周辺から中心市街地全域へ拡大し、善光寺境内や都市公園にも発表ステージを設けて、市民がまちなかで音楽や伝統芸能に触れる機会を広く提供するとともに、中心市街地活性化プランからの拡大エリアとした長野市芸術館の活用事業でも、毎年音楽祭「アートメントNAGANO」を開催して気軽に楽しめる芸術を発信している。更に、平成29年度はこれに合わせて市民有志による文化活動「フリンジ長野」が開催され、音楽のみならず多様な文化芸術活動を通じた公民の連携が生まれた。

今後は、もんぜんぷら座の耐震化や防災設備の更新等「当面の課題」に速やかに着手するとともに、新田町交差点周辺の総合的なまちづくり構想の策定等「長期的な課題」の検討を開始する。また、街角に芸術と音楽があるまちづくり事業によるまちなかコンサートや、善光寺表参道文化村事業による伝統行事の復活を恒例化させることで、日常への定着を目指す。